

令和8年度 事業計画

公益財団法人滋賀県文化財保護協会

I 協会運営

令和元年度に策定された「滋賀県文化財保存活用大綱」も意識して策定した『第六次中期計画』では、進むべき方向性を「文化財を通した豊かな滋賀づくりへの貢献」とし、その実現のために以下の3つの大きな方針を定めています。

方針1：時代の変化に即した組織面の強靱化を進めます

方針2：経営の安定化に必要な財源確保と事業展開を進めます

方針3：情報発信による事業効果の社会への還元を進めます

1. 役員会議等

決算監査	1回開催予定
理事会	4回開催予定
評議員会	1回開催予定

2. 職員構成

協会事務局および各事業所所属職員の構成

	協会事務局	埋文センター	安土城考古博物館	琵琶湖文化館	計
人員	30	3	12	1	46

3. 管理運営

- (1) 平成24年4月1日付で滋賀県より公益財団法人として認定され、14年目を迎えます。また、『第六次中期計画』に基づく令和8年度の事業方針・事業計画の進捗を管理し、評価と改善策を検討します。
- (2) 滋賀県立安土城考古博物館は、第4期指定管理期間の5年目が終了し、さらに延長1年が加わる年度となります。
第1常設展示室リニューアルを活かし、県との連携をはかりながら、地域に親しまれる博物館となるよう努めます。
- (3) 滋賀県立琵琶湖文化館、滋賀県埋蔵文化財センターの施設管理を適切に行います。

4. 主な取り組み内容

令和8年度は以下の取組1～4を設定し、《文化財を通した豊かな滋賀づくりへの貢献》の実現に向けて取り組みます。

取組 1. 時代の変化に即した組織面の強靱化を進める

(1) 時代の変化に対する意識改革

【中期方針 1 A】

- ①外部機関との情報交換と情報入手を積極的に行い、公益法人を取り巻く状況の把握とその成果の共有に努める 《継続》

(2) 業務の合理化と経営戦略の整理

【中期方針 1 B】

- ①業務内容のマニュアル化と既存のマニュアルの整備により、業務の標準化と合理化をはかる 《継続》
- ②事務的業務の省力化と合理化のため、デジタル化を検討し、必要に応じて推進する 《継続》
 - ・ 勤怠管理システムの導入 《新規》
- ③発掘調査現場におけるインターネット環境の導入 《継続》
- ④公益法人に関する基礎的知識の習得に努める 《継続》

(3) 組織と職員の持ち味や強みの反映

【中期方針 1 D】

- ①職員からの聴き取り調査等により、組織と職員一人一人の持ち味・強みの把握に努め、組織運営に生かす 《継続》

(4) 堅実な後進育成と的確な世代交代

【中期方針 1 A・1 D】

- ①連携を支える内部の人材育成 《継続》
 - ・ 調査記録類作成等に関する研修の実施 《継続》
 - ・ 若手職員を対象とした技術継承の研修の実施 《継続》
 - ・ 測量、安全衛生管理等に必要な資格の取得 《継続》
- ②ベテラン職員の技術・経験・知識の活用と継承 《継続》
- ③人材育成・世代交代アクションプランに基づく人材育成・職員採用 《新規》

(5) 発掘・整理調査のエキスパート集団としての体制の整備と強化 【中期方針 1 E】

- ①発掘調査約 11 件（調査面積約 42,100 m²）、整理調査約 12 件（報告書刊行 7 件）が候補に挙がっており、原因者および県文化財保護課との調整の上、受託する 《継続》
 - ・ 国（国土交通省）が進める事業への対応
 - 出庭・手原遺跡、佐和山城跡、塩津港遺跡の整理調査
 - ・ 県（土木交通部・農政水産部ほか）が進める事業への対応
 - 上御殿遺跡、御館前遺跡、金森西遺跡等の発掘調査を実施、過年度発掘分の整理調査についても対応
 - ・ 市町事業への対応
 - 笠原南遺跡（守山市）の整理調査の受託
 - その他、突発的な要望については県文化財保護課と調整

- ②調査精度の維持と迅速で効率的な現場運営のための体制整備に努める
・将来的な人手不足を見越した物理的対応策の検討作業の着手 《新規》
- ③職場の安全対策・環境整備 《継続》
- ④1人現場体制（調査面積2,000㎡以下）の課題の整理と改善 《継続》
- ⑤調査に必要な基礎的な技能向上を図るための研修 《継続》

（6）DXやAIを活用した業務の推進

【中期方針1B・1E】

- ①デジタル測量技術の導入による積算根拠の見直しを検討 《継続》
- ②調査におけるデジタル技術・AIの活用方策の検討 《継続》
- ③グループウェアの導入と相互連携の検討 《新規》

取組2 財団経営に必要な財源確保と事業展開を進める

既存事業の充実により、県を中心とする外部機関との関係や連携の維持と強化に努め、さらに新規事業の立ち上げにより財源の確保に努める

（1）多様な主体との連携による積極的な社会貢献を展開する

【中期方針1A・1D・2B・3】

1）連携の起点創出事業

【中期方針1A・2・3】

- ①地域の文化財の保存活用事業の掘り起こし 《継続》
- ②「文化財保存活用地域計画」学習会の企画・実施 《継続》

2）連携事業の実践

- ①市町との連携事業 【中期方針2】
 - ・体験学習等の受託 《継続》
 - ・保存処理普及事業の実施 《新規》
- ②県シルバー人材センター連合会との連携事業 【中期方針2・3】
 - ・「遺跡発掘技能講習」の受託 《継続》
- ③滋賀リビング新聞社との連携事業 【中期方針1D・2・3】
 - ・滋賀リビング新聞での協会関連事業の広告 《継続》
 - ・滋賀リビングカルチャー倶楽部への講師派遣 《継続》
 - ・滋賀リビング新聞への取材協力 《継続》
- ④大学との連携事業 【中期方針1D・2】
 - ・調査補助員としての受け入れ 《継続》
 - ・大学が実施する教育人材育成での連携 《継続》
 - 講義、人材養成事業等への講師派遣
 - 専攻生のインターンシップ受け入れ
 - オープンキャンパスへの協力
 - 協会・大学・高校の3者連携事業の実施
 - 大学との協働による研究・活用事業の実施
- ⑤企業との連携の検討 《新規》

(2) 文化財の保存と活用を目的とした外部資金の確保につながる情報の収集と検討

《継続》【中期方針 2-4】

- ①クラウドファンディング等の寄付制度の検討
- ②新規の財源確保事業の開拓の検討

取組 3 情報発信による事業効果の社会への還元を進める 【中期方針 3-1~5】

情報発信を積極的に行うことで、文化財への関心を持つ住民に貢献するとともに、関心がまだ浅い住民にも成果の発信を広げ、事業効果の社会への還元を徹底する

- ①所属間の連携の推進 【中期方針 3-1】
 - ・ G L 会議、情報発信推進委員会（随時）等の開催 《継続》
- ②連続講座の企画、実践 【中期方針 1D・3】
 - ・ サテライト開催およびオンデマンドの実施 《継続》
- ③協会の取組事業の外部発信 【中期方針 1D・3】
 - ・ ホームページを利用した情報発信の強化 《継続》
 - 「シガブンシンブン」の企画と展開
 - ・ DM等の発送、紀要の刊行等 《継続》
 - ・ 協会事業広報媒体の作成と発信 《継続》
 - ノベルティグッズの作成
 - ・ 「おうみ文化財通信」の刊行 《継続》
- ④発掘調査成果の情報発信の強化 《継続》【中期方針 3】
 - ・ 「レトロ展」「あの遺跡は今！」等の開催
- ⑤県や市町・民間事業者等の多様な主体との連携を活かした情報発信
《継続》【中期方針 3-2】
- ⑥ 3Dプリンターを活用した効果的な情報発信の検討と取り組み
《新規》【中期方針 3-2】
 - ・ レプリカ・ミニチュア作成とその活用
 - ・ 滋賀県立安土城考古博物館、滋賀県埋蔵文化財センターの情報発信の活用

取組 4 県の文化施設の運営の充実に努める 【中期方針 1~3】

(1) 滋賀県立安土城考古博物館の管理運営の充実

- ①入館者増に向けた取組
 - ・ 安土城築城 450 年事業に即した事業展開等と関係機関との連携
《継続》【中期方針 2-2】
 - ・ 城郭をテーマとした令和 8 年度特別展・企画展・特別陳列の実施 《継続》
 - ・ 滋賀県戦国・豊臣観光キャンペーン（R7. 11~R8. 12）との連携 《新規》
 - ・ 城郭資料館、城ナビ館、信長の館との連携強化 《新規》
 - ・ 安土城跡、信長の館からの集客強化 《新規》
- ②広報の充実と自主事業等の展開 【中期方針 2-2】
 - ・ 動画配信、SNS 発信の強化 《継続》

- ・考古ファンへの対応（特別陳列Ⅴ、第73回企画展） 《継続》
- ・小中高生の校外学習の充実（体験学習、学習相談、安土城案内など） 《継続》
- ・シアターのイベントブース活用 《新規》
- ・コンベンションレンタル、ロケーションレンタルの事業化 《新規》
- ・館蔵資料のデジタル公開 《継続》
- ③関連施設との連携と情報発信
 - ・関連市町等とのあり方の検討 《新規》
 - ・滋賀県デスティネーションキャンペーン（プレDC：R8.10～12）への参画 《新規》
 - ・theしがパークとの連携 《新規》
 - ・旅行者へのPR 《継続》
- ④次期指定管理に向けての情報収集 **【中期方針2-2】**
 - ・県との情報交換と方針の検討 《継続》

（2）滋賀県埋蔵文化財センターの管理運営の充実

- ①出土資料の保管管理業務 《継続》
- ②埋蔵文化財を活用した普及啓発業務と情報発信の強化 **【中期方針3-4】**
 - ・展示事業（ロビー展示(展示替え2回)、JR大津京駅構内展示(3回)) 《継続》
 - ・職場体験・出前事業・体験学習等の実施 《継続》
 - ・外部への情報発信 《継続》
 - ・収蔵品のホームページ上での公開を検討 《継続》
 - ・センターバックヤードツアーや収蔵庫探検の実施 《新規》
 - ・安土収蔵庫ツアーの実施 《新規》
 - ・来館者アンケートの実施 《新規》
- ③びわこ文化公園の活性化に向けた連携事業の充実 **【中期方針3-5】**
 - ・「文化ゾーン探検隊」「文化ゾーンフェスティバル」等の実施 《継続》
 - ・体験学習の連携「アートにどぼん！」の実施 《継続》
 - ・3館連携講演会の実施 《継続》

（3）滋賀県立琵琶湖文化館の管理運営の充実

【中期方針2・3】

- ①施設の維持管理 《継続》
- ②スムーズな展覧会業務の遂行 《継続》
 - ・地域連携企画展（社寺との連携：地元での寺宝公開に併せて実施）
- ③普及啓発業務の活性化 《継続》
 - ・「滋賀の文化財講座 花湖さんの打出のコヅチ」の開催（全6回）
- ④新しい琵琶湖文化館の機運醸成を含めた琵琶湖文化館としての情報発信の強化
 - ・ホームページや掲示板を使った情報発信 《継続》
 - ・協会が実施する各種イベント等での啓発 《新規》
- ⑤協会受託の期限の確認とそれに向けた管理業務の県への引継ぎ準備 《継続》

(4) 県との「安土城考古博物館」および「埋蔵文化財センター」のあり方検討の協議

- ①魅力ある安土城考古博物館運営のための県との協議、提案 《継続》
- ②県が整備を予定している新しい埋蔵文化財センターの基本計画の情報収集と参画 《新規》

Ⅱ 発掘・整理調査事業

予算額 574,970千円

埋蔵文化財の保存と活用を図るため、国および県事業である各種公共事業等に伴う発掘調査および整理調査を行います。また、市町文化財部局が行う発掘調査・整理調査について協力し、埋蔵文化財の保存と活用を図ります。

(下線は報告書刊行予定)

	事業名	発掘調査(件)	整理調査(件)	計(件)
1	国土交通省関係 ○整理調査：国交省関連事業整理調査 (塩津港遺跡[長浜市]、 <u>佐和山城跡[彦根市]</u> 、出 庭・手原遺跡[栗東市]、)	0	1	1
2	農林水産省関係 ○発掘調査：西海道遺跡[東近江市]	1	0	1
3	県土木交通部（道路・河川・砂防）関係 ○発掘調査：御館前遺跡[近江八幡市]、久徳遺跡[多賀町] ○整理調査：御館前遺跡[近江八幡市]、林遺跡ほか[栗東市]、 比江遺跡ほか[野洲市]、長野遺跡ほか[愛荘町]、 蜂屋遺跡[栗東市]、江頭南遺跡[近江八幡市]、阿 弥陀寺遺跡[近江八幡市]	2	7	9
4	県農政水産部関係 ○発掘調査：上御殿遺跡(青井川)[高島市]（3事業） ○整理調査：高野・六地藏遺跡[栗東市]、 <u>妙福寺遺跡[彦根市]</u>	3	2	5
5	県教育委員会事務局関係 ○発掘調査：金森西遺跡 [守山市]	1	0	1
6	市町関連事業等関係 ○発掘調査：中畑・古里遺跡ほか [野洲市]、笠原南遺跡 [守 山市]、横江遺跡 [守山市]（2事業） ○整理調査： <u>横江遺跡その2[守山市]</u> 、 <u>下鉤・野尻遺跡[守山 市]</u>	4	2	6
計	発掘調査面積：42.1千m ²	11	12	23

Ⅲ 企画事業

予算額 2, 858千円

1. 基本方針

これまでの取組みの蓄積により、市町や民間事業者・大学をはじめとする地域の多様な主体との連携が深まったことで、それぞれが抱えるさまざまな課題をより具体的な形で共有しつつあります。令和8年度は、それらの諸課題をより現実的な形で緩和・解消していくことで、多様な主体とのパートナーシップをさらに強固なものとし、その結果として協会の社会的価値を向上させます。

また、積極的な情報発信事業を通して、各種事業・取組みの成果の社会還元を進め、文化財の保存・活用の裾野拡大と、協会の社会的価値の向上を進展させます。

2. 具体的な取り組み

「多様な主体との「つながり」促進事業」と「情報発信事業」の2つの柱を体系的かつ相互に連動させ、具体的な取り組みを進めていきます。

(1) 多様な主体との「つながり」促進事業

①～⑦の事業実施を通して、多様な主体との「つながり」を促進し、連携を通して積極的に地域貢献を進めます。

①・②では、文化財の保存・活用と地域振興の最前線で市町等が抱えている課題を洗い出し、その課題の緩和・解消に必要な措置——広域な連携体制の構築や具体的な課題解消に必要な事業の試験的な実施等——に取り組み、地域貢献の深化と、協会の社会的価値の向上を進めます。

③～⑦では、市町や民間事業者、大学等が実施する文化財の保存・活用事業や人材育成事業への貢献を通して、協会の社会的価値を向上させます。

また、個別事業①～⑦の取組みにおける経験の蓄積を通じ、協会職員の資質向上と組織の持続可能性拡大を進めます。

①地域の文化財の保存活用事業掘り起こし [中期計画2-3-(1)]

②「文化財保存活用地域計画」学習会の企画・実施 [中期計画2-1-(1)]

③市町との連携事業 [中期計画2-1-(1)・3-2-(3)]

i) 体験学習等の受託

ii) 連続講座のサテライト開催

④県シルバー人材センター連合会との連携事業 [中期計画2-1-(2)・3-2-(3)]

i) 遺跡発掘技能講習への講師派遣

⑤滋賀リビング新聞社との連携事業 [中期計画2-1-(2)・3-2-(3)]

- i) 滋賀リビングカルチャー倶楽部への出講
- ii) 滋賀リビング新聞への取材協力

⑥平和堂旅行センターとの連携 [中期計画 2-1-(2)・3-2-(3)]

- i) 連続講座のサテライト開催

⑦大学との連携事業 [中期計画 2-1-(3)・3-2-(3)]

- i) 調査補助員としての受け入れ
 - ii) 大学が実施する教育人材育成での連携
 - ・講義、人材養成事業等への講師派遣
 - ・専攻生のインターンシップ受け入れ
 - ・調査技術等相互研修の実施
- ・オープンキャンパスへの協力
・高校との3者連携事業の実施

(2) 情報発信事業

ホームページや各種広報媒体での情報発信活動の活性化と対象拡大を進め、文化財とその保存・活用を担う協会の社会的価値を向上させます。また、3D計測技術を生かしたレプリカ・ミニチュアの作成事業や紀要の刊行を通じて、職員の調査・研究に関する能力の向上と活用を進めます。

①ホームページよみものコンテンツの更新 [中期計画 3-2-(4)]

②連続講座の企画実践 [中期計画 1 D-3-(1)・3-2-(2)]

③協会の取り組みの外部発信

- i) 情報発信推進委員会の開催 [中期計画 3-1-(1)・(2)]
- ii) ホームページの管理・運営 [中期計画 3-4-(2)・(3)]
- iii) 文化財行事案内(DM)等の発送 [中期計画 3-2-(6)]
- iv) おうみ文化財通信の刊行 [中期計画 3-2-(5)]
- v) 協会事業広報媒体の作成と発信 [中期計画 3-2-(7)]
- vi) 3D計測技術を生かしたレプリカ・ミニチュアの作成 [中期計画 3-2]
- vii) 紀要の刊行 [中期計画 1 D-3-(4)]

Ⅳ 滋賀県立施設管理運営業務

1 滋賀県立安土城考古博物館管理運営事業 予算額 173,521千円

1. 基本方針

文化財の収集と保存管理を行う事業ならびに、「安土城と信長・戦国」を柱とする滋賀県の「歴史と文化」を展示・公開し、情報発信する事業を実施します。

併せて、安土城築城450年祭り、滋賀県戦国・豊臣キャンペーン等にも積極的に参画し、近隣施設等との連携のもと入館者数の確保と、地域に親しまれる博物館運営に努めます。

(1) 安土城築城450年事業に即した事業展開と関係施設等との連携

《継続》【中期方針2-2】

- ・城郭をテーマとした特別展、企画展および特別陳列の開催
- ・安土城郭資料館・安土城天主信長の館・城ナビ館との連携
- ・安土城築城450年協議会との連携

(2) 滋賀県戦国・豊臣観光キャンペーン等との連携

- ・滋賀県戦国・豊臣キャンペーンとの連携
- ・NHK大河ドラマ「豊臣兄弟！」に関連する企画との連携
- ・滋賀県シガリズム・デスティネーションキャンペーンとの連携

(3) 関連施設との連携と情報発信

《継続》【中期方針2-3】

- ・3県（滋賀・岐阜・福井）・3館（当館・岐阜県関ヶ原古戦場記念館・福井県立一乗谷朝倉氏遺跡博物館）の連携
- ・美の魅力発信5館ネットワークとの連携
- ・学校との連携と積極的な受け入れ
- ・観光業者へのPR

(4) 次期指定管理に向けての情報収集と人材育成

《継続》【中期方針2-2】

- ・県との情報交換、今後の人材育成の検討
- ・自主事業（旅行会社との連携、探訪トレイル等）に係る人材育成

2. 具体的な取組

(1) 展覧会事業

【中期方針2-2・3対応】

①春季特別展 安土城築城450年記念「安土山築城前夜―戦国乱世の城―」

展覧会期：令和8年4月25日（土）～6月14日（日）

会場：企画展示室

内容：安土城は近世城郭の出発点と評価されていますが、その前提とし

て、各地の技術や資源を結集させた戦国時代の城が存在していました。

戦国時代の城は戦のみではなく、政治や文化の拠点としても機能していました。本展では、戦国時代の城を取り上げ、その特徴や共通点を紹介するとともに、安土城に及ぼした影響を考えます。

展示資料：勝瑞城跡・勝瑞館跡（徳島県）、一乗谷朝倉氏遺跡（福井県）、北畠氏館跡（三重県）、大桑城跡（岐阜県）、飯盛城跡（大阪府）、勝龍寺城跡（京都府）、観音寺城跡、小谷城跡などの出土資料

②第72回企画展「秀吉の城」

展覧会期：令和8年7月18日（土）～9月23日（水・祝）

会場：企画展示室

内容：近江に築かれた城郭の中から、秀吉やその一門が関係した城郭について、出土資料、絵図、写真パネルなどで紹介します。

展示資料：小谷城跡、長浜城遺跡、佐和山城跡、安土城跡、八幡山城遺跡、水口岡山城跡、大津城遺跡、坂本城遺跡、大溝城遺跡などの出土資料

③秋季特別展 安土城築城450年記念「天下人の城下町 安土」

会期：令和8年10月10日（土）～11月15日（日）

会場：企画展示室

内容：令和8年は、織田信長が安土城を築城し、その城下町を作り上げてから450年の記念の年です。令和7年度は、近世城郭の先駆けとなった安土城を取り上げました。令和8年度は、信長がその麓に作り上げた城下町を考えます。信長はここに町を作るためにどのような政策を施したのか、町はどのような姿をしていたのかを、残された資料から考えます。

展示資料：織田信長画像、築城図屏風、安土山下町中掟書、江州蒲生郡豊浦村与須田村山論立会絵図、織田信長制札、織田信長朱印状などを予定

④第73回企画展「古代国家と鉄―近江のくろがね―」

会期：令和9年2月13日（土）～4月11日（日）

会場：企画展示室

内容：近江は、交通の要衝であると同時に、大津宮、紫香楽宮、保良京など三つの宮都が造営されました。その背景には、近江の鉄生産があったと考えられます。本展では、弥生時代から平安時代前半頃までの県内出土の鉄製品から、近江の鉄が国家や地域社会にどのような影響をもたらしたのかについて考えます。

展示資料：熊野本遺跡、瓢箪山古墳、新開1・2号墳、鴨稻荷山古墳出土資

料、県内各地の遺跡から出土した製鉄・鍛冶・鋳造関連遺物などを
予定

関連行事：ギャラリートーク 展示解説：大道和人（当館）

⑤特別陳列（望楼ホール、企画展示室で開催）

i) 「秀吉の城 小谷城」

会期：令和8年4月7日（火）～4月23日（木）

会場：望楼ホール

内容：小谷城跡出土の笏谷石製品を展示紹介します。

ii) 「豊臣の城1 長浜城と城下町」

会期：令和8年4月25日（土）～7月17日（金）

会場：望楼ホール

内容：長浜城遺跡出土の瓦、長浜町遺跡出土の陶磁器を展示紹介します。

iii) 「古墳時代の甲（よろい）と冑（かぶと）」

会期：令和8年7月18日（土）～9月23日（水・祝）

会場：望楼ホール

内容：新開1号墳出土の甲冑（原品は重要文化財）を展示紹介します。

iv) 「豊臣の城2 八幡山城」

会期：令和8年9月25日（金）～10月7日（水）

会場：望楼ホール

内容：八幡山城遺跡秀次館跡出土の金箔瓦、金箔飾り瓦を展示紹介します。

v) 「豊臣の城3 坂本城と大津城」

会期：令和8年10月10日（土）～12月27日（日）

会場：望楼ホール

内容：坂本城遺跡出土の瓦、大津城遺跡出土の瓦などを展示紹介します。

vi) 「縄文・弥生・古墳時代の近江」

会期：令和8年11月28日（土）～令和9年1月31日（日）

会場：企画展示室

内容：館蔵品を中心に、県内出土の縄文・弥生・古墳時代の資料を展示紹介します。展示資料は、これまで第1常設展示室で展示していた資料、模型や複製品を活用します。

vii) 「湖東焼 彦根藩が生んだ美」（予定）

会期：令和9年2月6日（土）～

会場：望楼ホール

内容：滋賀県立陶芸の森所蔵品を予定

※ 滋賀県立陶芸の森との連携企画

⑥でかける博物館 in 安土城考古博物館・でかける博物館 in 近つ飛鳥博物館

会期：未定

会場：望楼ホールもしくは企画展示室

内容：未定

※ 大阪府立近つ飛鳥博物館との連携企画。当館は近つ飛鳥博物館で展示

⑦安土城跡発掘調査速報展

会期：令和8年4月11日（土）～4月24日（金）予定

会場：エントランスホール

内容：滋賀県文化スポーツ部文化財保護課が開催する安土城跡の発掘調査成果報告会（4月11日（土）予定）に合わせて出土資料を展示紹介します。

⑧県内遺跡発掘調査速報展

会期：随時

会場：エントランスホール

内容：未定（当協会が実施した発掘調査の成果を展示紹介します。）

（２）講座事業

【中期方針2-2・3対応】

①春季特別展関連講座

i) 6月 6日（土）「六角氏と観音寺城」

講師：新谷和之氏（近畿大学）

ii) 6月13日（土）「考古資料と歴史史料」

講師：佐藤圭氏（元福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館）

②第72回企画展関連講座

i) 8月22日（土）「京極高次と大津城」（仮）

講師：五十嵐正也氏（大津市歴史博物館）

ii) 9月 5日（土）「秀吉・秀長兄弟と長浜」

講師：福井智英氏（長浜市長浜城歴史博物館）

③秋季特別展関連講座

i) 「安土城下町」（仮）

講師：仁木宏氏（大阪公立大学教授）予定

ii) 「安土城と織田信長」（仮）

講師：松下浩氏（滋賀県文化スポーツ部文化財保護課）予定

④企画展関連講座

i)「未定」

講師：真鍋成史氏（交野市教育委員会） 予定

ii)「近江のくろがね」（仮）

講師：大道和人（当館）

⑤協会本部が実施する連続講座のサテライト会場

当館セミナールームを協会本部とオンラインで結ぶサテライト会場として、受講希望者のニーズに応えます。

（３）その他の催し物

【中期方針 2-2 対応】

①城郭トレイル

- ・城郭トレイル「観音寺城跡と桑實寺」第1回 4月29日（水・祝）
- ・城郭トレイル「観音寺城跡と桑實寺」第2回 5月10日（日）
- ・城郭トレイル「安土城跡」第1回 5月17日（日）
- ・城郭トレイル「安土城跡」第2回 5月24日（日）
- ・城郭トレイル「安土城跡」第3回 10月12日（月・祝） 予定
- ・城郭トレイル「安土城跡」第4回 11月 3日（火・祝） 予定
- ・城郭トレイル「観音寺城跡と桑實寺」第3回 11月14日（土） 予定

②体験博物館

- ・親子体験博物館「勾玉を作ろう」第1回 8月 9日（日）
 - ・親子体験博物館「勾玉を作ろう」第2回 10月10日（土）・11日（日）
- ※ 当協会主催「あの遺跡は今！」と同時開催の予定

（４）その他の事業

【中期方針 2-2・3 対応】

①刊行事業

- ・学芸員の調査研究成果をまとめた『紀要』の刊行
- ・博物館の令和7年度事業をまとめた『年報』の刊行
- ・博物館だより「おおてみち」の刊行（年4回）
- ・「催し物案内」の刊行（年2回）

②広報・情報発信

- ・SNSによる情報発信
フェイスブックやインスタグラムによる硬軟織り交ぜた情報の発信により、フォロワーの増加を目指します。
- ・美の魅力発信5館連携ネットワーク
県立5館が連携して情報発信事業を企画、実施します。

- ・滋賀、岐阜、福井の三県が連携した企画を検討、実施
岐阜県観光国際部観光資源活用課、岐阜関ヶ原古戦場記念館と連携して
広報・情報発信を強化します。
- ・お城 EXP0 との連携
あづちマリエート・文芸セミナリヨで開催予定のお城 EXP0 との連携を予
定しています。

③自主事業

- ・安土城探検（対象：小中高生）、城郭トレイル（対象：一般）、信長・戦国満
喫ツアー（対象：旅行社）の実施
- ・夏休みイベント「まめのぶくんをさがせ！館内ミニクイズラリー！」の実施
- ・デジタルアーカイブの整備・公開
- ・「触れる展示」の充実
- ・滋賀県立陶芸の森との連携
- ・シアターのイベントブース活用の検討
- ・コンベンションレンタルの検討
- ・ロケーションレンタルの検討・実施

④調査研究

- ・展覧会、講座等開催準備のための資料調査、情報収集など

⑤研修

- ・滋賀県博物館協議会など

2. 滋賀県埋蔵文化財センター管理運営事業 予算額 25,520千円

1. 基本方針

滋賀県埋蔵文化財センターは、滋賀県の埋蔵文化財保護行政の中核を担う施設として、埋蔵文化財の保存および活用、調査および研究、出土遺物および記録資料の収集整理と収蔵保管、知識の普及および啓発等の業務を担っています。当協会は、県からその施設管理および運営を受託し、積極的に取り組みます。

2. 具体的な取り組み

(1) 施設の維持管理事業

- ①庁舎の修繕や保守・点検等の維持管理を行います。
- ②県内3か所に所在する収蔵庫の維持管理を行います。

(2) 出土資料の保管管理事業

- ①収蔵資料の保管管理を行うとともに、未整理分の出土資料の点検、データ整理（コンテナ100箱程度）を行います。
- ②出土資料等の貸出し、特別利用に関する業務を行います。
- ③当該年度発掘調査出土品および記録類を受入、収納し、データ作成を行います。
- ④発掘調査報告書等の書籍の受入、保管、貸出、閲覧業務を行います。

(3) 普及啓発事業

[中期計画3-4・3-5]

①ロビー展示の開催

玄関ロビーにおいて、県内の埋蔵文化財を紹介する展示を行い、年2回の展示替えを行います。テーマ展「テーマ未定」や県民から展示の要望が多い相谷熊原遺跡出土土偶の定期的公開を行います。また、今後のセンターに活かすために、来館者へのアンケートの徴収を行います。

令和7年7月1日(月)～令和8年7月3日(金) 予定(令和7年度から継続)

令和8年7月21日(火)～令和9年1月8日(金) 予定「テーマ未定」

令和9年1月25日(月)～令和9年7月2日(金) 予定「テーマ未定」

展示スペースの一角を使用して、「安土城築城450年」「豊臣兄弟」に絡めたパネル展示を行います。

②JR湖西線大津京駅構内展示

大津京駅構内文化財展示場において、年3回、出土遺物や写真パネルでの展示・紹介を行います。

「安土城築城450年」「豊臣兄弟」に関連し、湖西線沿線に所在する城郭をテーマに展示を行います。

宇佐山城跡・・・令和8年1月30日(金)～令和8年5月29日(金)
(令和7年度からの継続)

生津城跡・・・令和8年 6月1日（月）～令和8年9月30日（水）

大溝城跡・・・令和8年10月1日（木）～令和9年1月29日（金）

坂本城跡・・・令和9年 2月1日（月）～令和9年5月31日（月）

③職場体験学習等の受入

小・中学校の体験学習や中学生の職場体験に協力し、一般団体の見学等の受入を行います。

④出前授業の実施

小・中・高校の歴史授業について、各学校や遺跡・史跡（史跡近江国庁跡等）へ出向いて歴史授業に協力します。また、埋蔵文化財センターが保管する出土資料を活用し、「出土品に直に触れられること」等、授業を通じて文化財に親しむ機会を提供します。

⑤体験学習の実施

夏休み期間に小学生を対象に古代の体験学習を実施し、文化ゾーンフェスティバルを実施する文化の日には、一般も含めた「鍛冶体験」の体験学習を行います。これらの体験学習は、びわこ文化公園内のワークショップシリーズとして、滋賀県立美術館や各施設と連携して「アートにどぼん!」のプログラムとして実施します。また、要望に応じ社会教育の場でも実施します。

勾玉づくり体験、鋳造体験 染め物体験、鍛冶体験の実施

⑥「文化ゾーン探検隊」や「文化ゾーンフェスティバル」の実施

文化ゾーン内に所在する文化施設に親しみ理解の醸成を図る目的で、県民に各施設を特別公開します（年2回）。また、「2026 みどりのつどい」や「人権ミニフェスタ」に協力し、施設の特別公開を行います（年2回）。

⑦「埋もれた文化財の話」の編集

ロビー展示に関連したテーマを取り上げた解説パンフレットを作成します。

⑧ホームページをとおして、展示や埋蔵文化財等の情報を発信します。

⑨収蔵品等を活用した一般公開

収蔵品の中でも報告未掲載品の活用を図るため、安土風土記の丘収蔵庫ツアーを実施します（「あの遺跡は今」の開催時）。

5月に開催される「みどりのつどい」や11月に開催される「人権ミニフェスタ」に合わせ、埋蔵文化財センター収蔵庫探検ツアーを実施します。

埋蔵文化財センター整理室での整理作業や、収蔵庫・書庫などの案内ツアーを実施します。

上記のイベントにおいても、今後の埋蔵文化財センターの活動にいかすために、参加者へのアンケートの徴収を行います。

（４）びわこ文化公園都市の活性化に向けた事業

[中期計画3－5]

埋蔵文化財センターの立地するびわこ文化公園都市の活性化のため、美術館・図書館と連携して3館連携の講演会の実施等により公園都市内の機能連携に努めます。

3 滋賀県立琵琶湖文化館管理運営事業

予算額 21,203千円

1. 基本方針

平成20年度から休館している琵琶湖文化館について、当協会は、施設の維持管理、ウェブサイトの更新等管理事務の分野における業務を受託し、収蔵品の管理・活用や寄託者対応等の学芸業務を担う県職員と協力して、館の運営に努めます。

さらに、琵琶湖文化館の活動内容や収蔵資料について積極的に情報を発信し、文化財講座等への参加について呼びかけを行います。このような活動により、県民への文化の発信を行うとともに、現在、県が令和9年（2027年）度の開館を目指し浜大津に建設している新しい琵琶湖文化館の機運醸成を図ります。

また、県との管理業務の受託終了に向けての調整と業務の引継ぎ準備を行います。

2. 具体的な取り組み

（1）施設管理

①目的

日常の施設維持管理を行うとともに、施設の小修繕や保守・点検等の維持管理を行います。夜間等職員不在時は機械警備を実施し、火災・地震等の緊急時に即応するため、県の職員も含めた緊急連絡体制を敷く等、防犯・防災体制に万全を期します。また、県（学芸員）の指示の元で文化財の適切な収蔵保管環境を維持するために協力します。

②内容

- ・施設設備の小修繕
- ・各種法定点検（消防設備、高圧受電設備、建築基準法に基づく設備点検等）
- ・収蔵品小修理および収蔵庫内の環境管理に係る支出および契約等事務手続き

（2）展覧会事業

①目的

休館中の琵琶湖文化館の収蔵品を県内社寺等で展示公開します。県民に、長年にわたり館が収集・保管してきた収蔵品に親しみ、滋賀の文化の豊かさを再認識し、文化財保護の取り組みについても理解いただく機会として、令和8年度は、県内社寺等と連携・協力し、展示公開をする予定です。

②内容

- ・チラシおよびリーフレットの印刷、広報等の開催支援
- ・美術品移動に係る支出および契約等事務手続き

（3）普及啓発事業

①目的

滋賀の文化財にまつわる最新情報を県民に向けて積極的に発信します。

②内容

滋賀の文化財講座「花湖さんの打出のコヅチ」を開催し、多彩なジャンルで滋賀の文化財をめぐる話題を提供することで、文化財を身近に感じていただくとともに、その魅力を県民に向けて発信します。メイン会場のほか、オンライン配信によるサテライト会場（5カ所程度）とも連携し、受講の機会を広く提供します。

第1回 5月27日（水）

第2回 6月17日（水）

第3回 7月15日（水）

第4回 9月16日（水）

第5回 10月28日（水）

第6回 11月17日（火）

- ・チラシの作成、印刷
- ・申込み受付、会場手配、会場準備等

（４）情報発信事業

①目的

ウェブサイトの運営においては、休館中の琵琶湖文化館の活動や収蔵品に関する話題を、親しみやすい内容で発信するとともに、新・琵琶湖文化館建設準備に向けた県の取り組み等を紹介する重要なツールとして位置づけ、積極的な情報発信に努めます。あわせて、適宜屋外掲示板に情報を公開する等機運醸成を図ります。

②内容

- ・ウェブサイトの充実
- ・研究紀要の発行
- ・県立図書館等への広報物の設置
- ・報道機関への資料提供等
- ・協会が実施する各種イベント等での啓発

（５）県との管理業務の受託終了・業務引渡しに向けて

①目的

新しい琵琶湖文化館の開設に伴い、現文化館の管理業務については県からの受託を終了することとなるため、県と調整を図り業務の円滑な引渡しが行えるよう準備を進める。

②内容

- ・県への引継ぎ書類等の作成
- ・図書資料、文書類の整理等

V 文化財保護基金および文化財活用基金

予算額 93,290 千円

1 文化財保護資金貸付事業

[中期計画 2-1-(1)]

指定文化財および登録文化財の保護・保存のため、文化財所有者が行う文化財の修理、防災施設および環境整備事業等に要する費用負担の軽減を図り、文化財の適正な維持管理が行えるよう必要な資金の貸付を行います。

貸付予定額	67,698,000円
貸付募集回数	年間2回
貸付時期	7月、12月
貸付限度額	1件 1,000万円以内
貸付利率	無利子
償還期間	7年以内（据置期間を含む）

2 文化財活用資金貸付事業

[中期計画 2-1-(1)]

指定文化財および登録文化財の活用のため、文化財所有者等が行う文化財の活用に関する事業（施設整備に係るものを除く。）に必要な費用の一時的な負担に対して、必要な資金（補助金等が交付されるまでの繋ぎ資金的性格）の貸付を行います。

貸付予定額	14,670,000円
貸付募集回数	年間2回
貸付時期	7月、12月
貸付限度額	1件 300万円以内
貸付利率	無利子
償還期間	事業完了後2ヶ月以内もしくは 国等の補助金の入金後1ヶ月以内